

事業名	境港ふ頭再編改良事業	担当課	港務局計画課	事業主体	中国地方整備局							
実施箇所	鳥取県境港市	担当課長名	森橋 真									
主な事業の 語元	岸壁(水深12m)(耐震)、泊地(水深12m)、ふ頭用地											
事業期間	事業採択	令和7年度	完了	令和10年代半ば (早期の便益発現を目指す)								
総事業費 (億円)	202											
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナ定期航路は内外合わせて週6便が就航しているが、外資航路でスケジュールの乱れが生じやすく、滞船が生じており、国際フェリー航路の増便が見込まれる中、コンテナ船が二隻同時に利用するためには岸壁が不足している。</li> <li>境港周辺で相次ぐバイオマス発電所の稼働に伴いバイオマス燃料の取扱量の更なる増加が見込まれるほか、金属くずを取り扱う事業者が国内他港と連携し大型船を利用した東南アジア等の遠方国への輸出を計画しているが、大型船が係留可能な岸壁が不足している。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外港昭和南地区において、岸壁(水深12m)、ふ頭用地等を新たに整備することにより、コンテナ船の混雑解消、増便の受入、バルク貨物の輸送のための大型船の受入に対応することが可能。あわせてふ頭用地においても貨物の集約・再編により貨物需要の増加に対応することが可能となる。</li> </ul>											
上位計画の 位置づけ	<p>■港湾の開発、利用及び保安並びに開発保全航路の開発に関する基本方針(令和6年4月1日告示)</p> <p>I 港湾の開発、利用及び保安の方向に関する事項</p> <p>1 特に戦略的に取り組む事項</p> <p>(1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成</p> <p>(2) 我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成</p> <p>(3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保</p> <p>① 災害等から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築</p> <p>II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項</p> <p>1 特に戦略的に取り組む事項に係る基本的な事項</p> <p>(1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成</p> <p>(2) 我が国及び地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成</p> <p>(3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保</p> <p>① 災害等から国民の生命・財産を守り、社会経済活動を維持する港湾・輸送体系の構築</p> <p>V 港湾の開発、利用及び保安に際し特に考慮する基本的な事項</p> <p>1 経済的、自然的又は社会的な観点からみて密接な関係を有する港湾相互間の連携の確保に関する基本的な事項</p> <p>(1) 港湾相互間の連携に関する観点</p> <p>① 経済的観点からの連携</p> <p>■港湾の中長期政策(PORT2030)(平成30年7月31日国土交通省港湾局公表)</p> <p>V 港湾の中長期政策の基本的な方向性</p> <p>2 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築③</p> <p>■第5次社会資本整備重点計画(抄)(令和3年5月28日閣議決定)</p> <p>第3章 計画期間における重点目標、事業の概要</p> <p>第2節 個別の重点目標及び事業の概要について</p> <p>1. 重点目標1: 防災・減災が主流となる社会の実現</p> <p>1-2: 切迫する地震・津波等の災害に対するリスクの低減</p> <p>4. 重点目標4: 経済の好循環を支える基盤整備</p> <p>4-1: サプライチェーン全体の強靱化・最適化</p> <p>■総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)(令和3年6月15日閣議決定)</p> <p>III 今後取り組むべき施策</p> <p>2: 時間外労働の上限規制の適用を見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進(抱い手にやさしい物流の実現)</p> <p>(1) フロントライナーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備</p> <p>③労働環境改善に資する幹線輸送の更なる推進</p> <p>3: 強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築</p> <p>(1) 感染症や大規模災害等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築</p> <p>(2) 物流を支えるインフラや各輸送モードの安全性の確保</p> <p>(3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築</p> <p>②モダリティのさらなる推進</p> <p>■国土強靱化基本計画(令和5年7月28日閣議決定)</p> <p>第1章 国土強靱化の基本的考え方</p> <p>4 国土強靱化政策の展開方向</p> <p>(2) 経済発展の基礎となる交通・通信・エネルギーなどライフラインの強靱化</p> <p>第3章 国土強靱化の推進方針</p> <p>2 施策分野ごとの国土強靱化の推進方針</p> <p>(8) 交通・物流</p> <p>■経済財政運営と改革の基本方針2024(令和6年6月21日閣議決定)</p> <p>第2章 社会課題への対応を通じた持続的な経済成長の実現～賃上げの定着と戦略的な投資による所得と生産性の向上～</p> <p>5. 地方創生及び地域における社会課題への対応</p> <p>(3) 地方活性化及び交流の拡大</p> <p>8. 防災・減災及び国土強靱化の推進</p> <p>(1) 防災・減災及び国土強靱化</p> <p>■新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂(令和6年6月21日閣議決定)</p> <p>IX. 経済社会の多様化</p> <p>1. 地方創生とデジタル田園都市国家構想の実現</p> <p>(3) デジタル田園都市国家構想の前提としての安心の確保</p> <p>① 広域交通インフラの整備</p> <p>② 国土強靱化、防災・減災投資の加速</p>											
事業の多面的な効果	<p>■政策目標・施策目標への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策目標: 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化</li> <li>施策目標: 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する</li> </ul> <p>■定量的・定量的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;地域の経済活動を支える輸送網の構築&gt;</li> <li>&lt;新たなコンテナ航路就航により輸送が効率化されるとともに、山陰地方の経済発展を支える安定的な輸送網の構築が図られる。&gt;</li> <li>&lt;大型船舶による輸送効率化&gt;</li> <li>&lt;大型船を利用することにより、鉄スクラップの輸送が効率化されるとともに、東南アジア等遠方国の鉄スクラップ需要を取り込んだ地域産業の国際競争力の向上に寄与する。&gt;</li> <li>&lt;また、木質ペレット、PKSのバイオマス燃料の輸送が効率化されるとともに、港湾背後に立地する木質バイオマス発電所の安定的な稼働を支えることで、エネルギー分野でのカーボンニュートラルに貢献する。&gt;</li> <li>&lt;被災時における社会・経済活動の維持&gt;</li> <li>&lt;耐震強化岸壁の整備により、被災時においても安定的な海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、社会・経済活動を維持することが期待される。&gt;</li> <li>&lt;排出ガスの削減&gt;</li> <li>&lt;陸上輸送距離の短縮及び大型船舶による輸送効率化に伴い、CO2排出量が減少することで、カーボンニュートラルの実現に寄与する。また、NOxの排出量が減少することで、大気汚染の防止に寄与する。(CO2:11,340トン/年、NOx:475トン/年)&gt;</li> </ul> <p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>&lt;便益の主な根拠&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナ貨物: 4,930TEU/年</li> <li>バルク貨物(金属くず、木質ペレット、PKS): 864千トン/年</li> <li>&lt;投資の効率性&gt;</li> <li>モーターシップによる輸送効率化(コンテナ貨物): 43億円</li> <li>大型船舶による輸送効率化(金属くず): 79億円</li> <li>大型船舶による輸送効率化(木質ペレット): 80億円</li> <li>大型船舶による輸送効率化(PKS): 138億円</li> <li>震災時の輸送コストの削減: 5.6億円</li> <li>残存価値: 0.19億円</li> </ul>											
基準年度	令和6年度											
基本ケース	割引率	4%	B:総便益(億円)	345	C:総費用(億円)	164	EIRR(%)	8.7	B-C	182	B/C	2.1
(感度分析)	<p>需要 (-10% ~ +10%) B/C( 1.9 ~ 2.3 )</p> <p>建設費 (-10% ~ +10%) B/C( 1.9 ~ 2.3 )</p> <p>建設期間 (-10% ~ +10%) B/C( 2.1 ~ 2.1 )</p> <p>(参考値)</p> <p>割引率 (2%) B/C( 3.2 )</p> <p>割引率 (1%) B/C( 3.9 )</p>											
対応方針	採択											
その他	<p>第三者委員会の意見・反映内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;「境港ふ頭再編改良事業」の新規事業採択時評価については適当である。&gt;</li> <li>&lt;港湾管理者の意見&gt;</li> <li>&lt;境港管理組合 境港市をはじめ地元からも強い要望があることから、確実に令和7年度の新規事業化を図っていただくようお願いする。&gt;</li> </ul>											

# 境港ふ頭再編改良事業 位置図

